

**NO VOTE NO FUTURE**

3年間の活動を通して・  
政治参加の重要性

東京都市大学メディア情報学部社会メディア学科  
3年 佐々木健太・吉野寿一・三浦萌



# 研究・活動背景

2015年の公職選挙法の改正により、選挙権年齢が**18歳**に引き下げられた。

(**世界の9割**が18歳選挙権を有していることも引き下げのきっかけ)

しかし、選挙権年齢の引き下げがあったにも関わらず、「若者」の投票率は依然として低いままである。

# 研究・活動背景（全国データ）

## ●若者の投票率低下の直近の例

2020年：第25回参議院議員通常選挙（令和初の選挙）

※全国データ・抽出形式

10歳代の投票率→**32.28%**

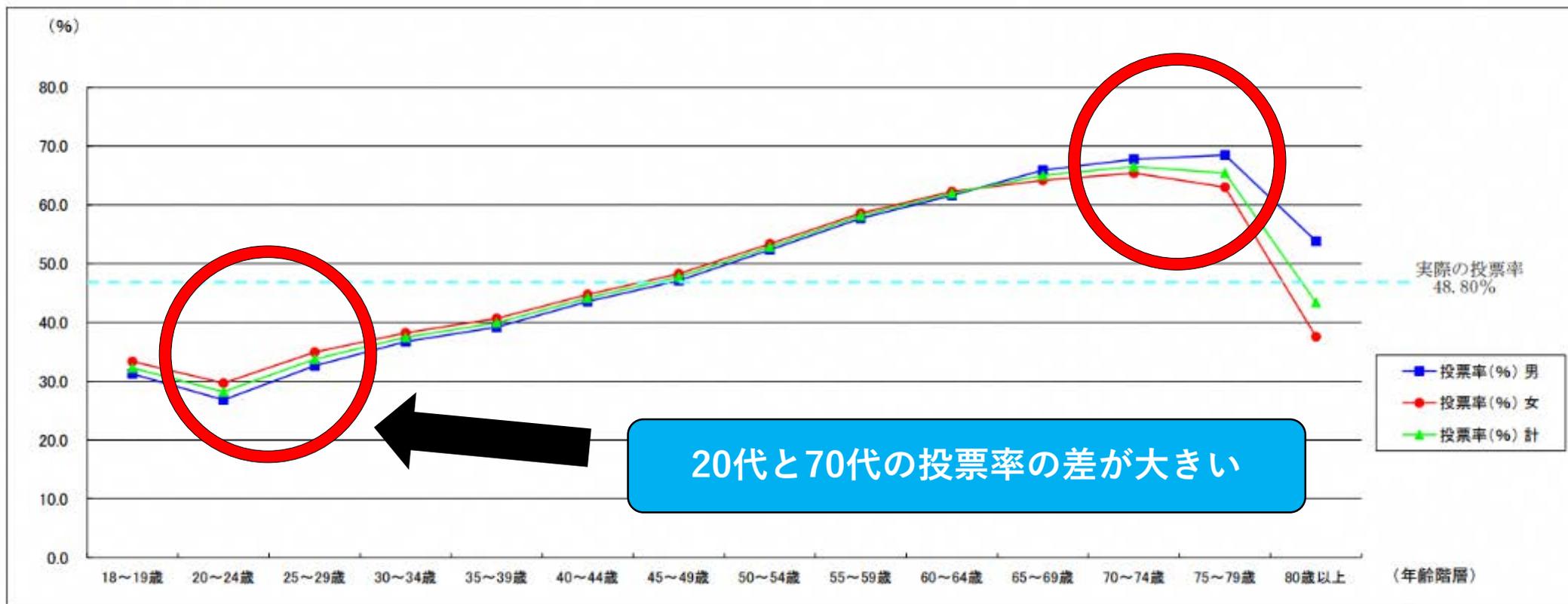
20歳代(20~24歳 + 25~29歳) の投票率→**30.96%**

70歳代以上の投票率→**56.31%**

**70歳代に比べ、10・20歳代の投票率は低い…**

# 研究・活動背景（全国データ）

(2) 年齢階層別投票率（全国）



# 研究・活動背景 (都筑区のデータ)

2016年：参議院選挙 (18歳選挙権施行初の選挙)

都筑区の平均投票率：56.46% 10代の投票率：58.82%



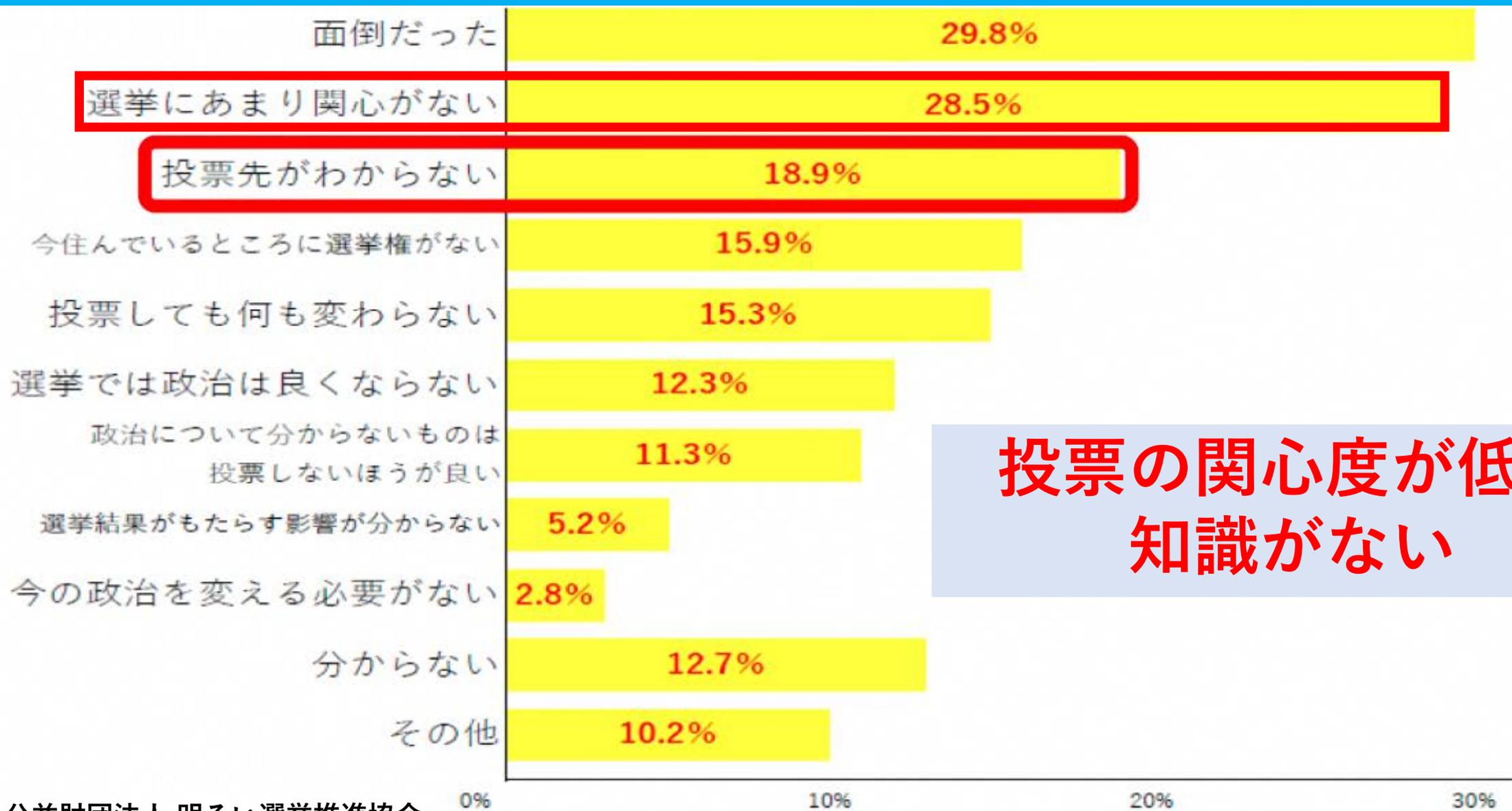
2019年：参議院選挙 (令和に改元後初の選挙)

都筑区の平均投票率：49.45% 10代の投票率：40.73%

前回の参議院選挙より、若者の投票率は大幅に下がってしまっている

# 研究・活動背景

～投票に行かなかった理由（若年層の意識調査）～



# 研究・活動背景

1.	ドイツ	70.6%
2.	アメリカ	64.9%
3.	イギリス	58.9%
4.	フランス	57.5%
5.	スウェーデン	57.1%
6.	韓国	53.9%
7.	日本	43.5%

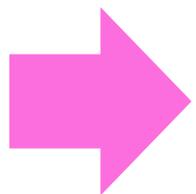
政治に対する  
関心度も低い

# 研究・活動背景

若年層の投票率低下

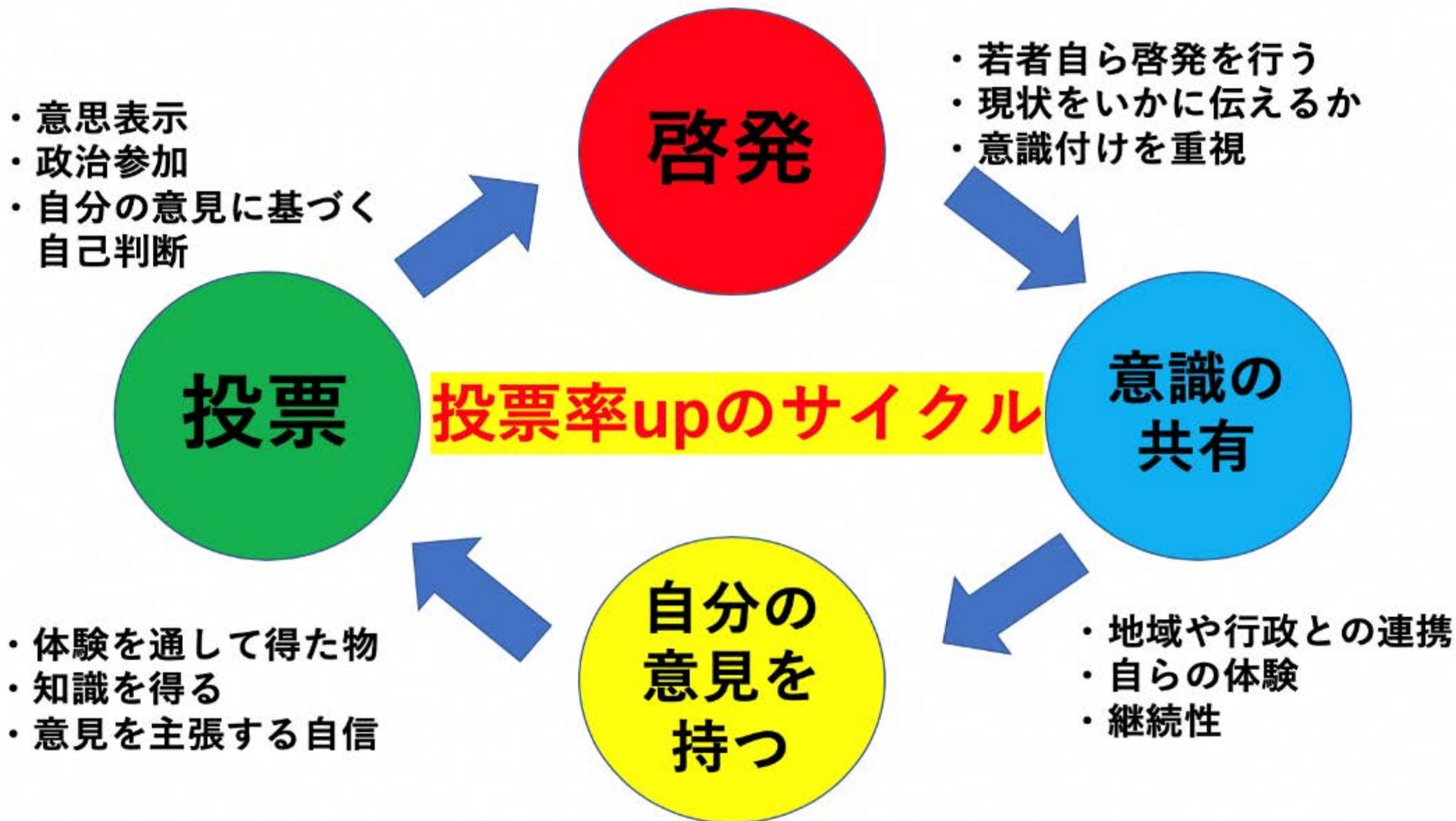
投票の関心度が低い・知識がない

政治に対する関心度も低い



このような状況を解決するアプローチを行いたい  
自ら若者たちを巻き込みたい

# これまでの活動について



# これまでの活動について(2018年)

- **TCU啓発活動：模擬投票・映像・イコットjr. 行進**
- 都筑区民まつり：ポスター作成・イコットjr.
- 地域連携調査研究発表会への参加（2019年3月に開催）

まだ、活動を初めて間もない頃に「まずは学内の学生（18歳も19歳もいるため）に向けて近々行われる選挙に行こう、選挙について知ろう」ということで行った。その後の学内での活動、選挙に関する事について学び始めるきっかけともなった。



# これまでの活動について(2019年)

## 街頭啓発：統一地方選挙・参議院選挙時に実施

(センター南駅～都筑区役所前・都筑区明るい選挙推進協議会との開催)

参議院選挙が行われる、1週間ほど前にウェットティッシュを配り、街頭啓発を行った。街頭啓発を行う中で自分たちと同じ年代の人はなかなか集まらずお年寄りが多かったことから、若者の選挙への関心の低さを痛感した。この感じたことを活かし、若者へのアプローチの仕方（どうしたら関心を持つようになり、振り向いてもらえるか など）を考えることに繋がった。



# これまでの活動について(2019年)

都筑区民まつりへの参加：11月3日（文化の日）ブース設置・運営、ポスター制作  
街頭啓発・イコットjr. 大行進



区民まつりは子連れの方も多く訪れるので、その人たちをターゲットとし身近に選挙を感じられるクイズの開催や着ぐるみとのふれあいを行い、**「その年齢層にあった啓発」を行うことの意義**を学ぶきっかけとなった。

# これまでの活動について(2019年)

TCU啓発活動：学内図書館×選挙（第4クォーターにて実施）啓発物品の配布・ポスター、おすすめ本の掲示（実際の投票で使われた記載台もレンタルして利用）

この活動は啓発のみではなく、**次世代のメンバー募集**もかねて行った。

図書館で起こったことは効果的で学生も比較的集まった。しかし、事前の開催予告が不足しており、この件から更に**活動広報に力を入れる**ことも視野にいった。（何の展示か不明確という意見もあった）



# これまでの活動について(2020年)

今後行われる、選挙の啓発イベントの発案（これは市との連携をメインに活動）

大学の卒業研究の下準備、事例研究の仕上げ

●新型コロナウイルスの影響により、実施に至らなかった活動

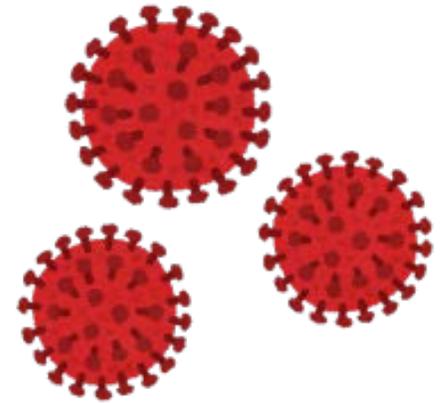
区民まつり：ポスター制作、ブース運営

出前授業：区内の小中学校での実施

大学内図書館での展示

（次の世代に繋げるための新メンバー募集に重点を置く予定だった）

※選挙啓発に関するセミナー等にオンラインで参加をするようにし、今後の授業づくり等の糧とした。



# これまでの活動について(2020年)

選挙啓発に関するセミナー等にオンラインで参加をするようにし、今後の授業づくり等の糧とした。

若者選挙ネットワーク支援事業 参加無料

## 効果的な選挙出前授業のための スキルアップオンラインセミナー

選挙出前授業に役立つ知識やスキルの習得を支援する  
オンラインセミナーを実施します！

既に選挙出前授業に出席や体験学習として活動している皆さんと、  
未経験の皆さんはスキルアップして活動の幅を広げてませんか？

ご応募お待ちしております！

**締切  
1月27日  
(水)**

全2回  
オンライン開催  
(Zoomにて配信予定)

**第1回  
2月6日  
(土)**  
13:00～15:00

主催者教育アドバイザーから  
効果的な選挙出前授業のポイントを学ぼう

※教員の要望を受け、各県各地で活動している主催者教育アドバイザーが  
講師を務める選挙出前授業の集大成を行います。

- 定員：先着30名（1回生20名以内）  
※上記以上の希望があればご相談ください。
- 講師：総務・大島 選挙省工非営利教育アドバイザー

**第2回  
2月13日  
(土)**  
13:00～15:00

プレゼンテーション研修  
～相手に伝わる話し方を身につけよう～

1月27日(水)に開催いたします。1月27日のお申し込みと合わせてお申し込み  
のうえ選挙出前授業にも参加し、2月13日の講座で成果をシェアします！

- 定員：先着30名（1回生20名以内）  
※上記以上の希望があればご相談ください。
- 講師：(株)話し方研修センター講師

**【申込み・お問合せ先】**

- 申込み方法：最新の「申し込み書」をメールまたはFAXで下記宛先までお送りください。
- 申込み先：総務省選挙官庁441 選挙開発部 中南・1111  
※申し込み用紙と申し込み書が同一紙面です。お申し込みの際は必ず両面を添付してください。  
お申し込み・お問合せ先は、Tel:03-5253-5574 宛先:03-5253-5575 宛先:03-5253-5575  
※お申し込みの際は必ずお名前を記載してください。

TEL: 03-5253-5574 FAX: 03-5253-5575  
メール: w.nakaminami@soumu.go.jp (中南) y3.kawamura@soumu.go.jp (1111)

これまで自分たちが行ってきた活動の中身と参加する中で照らし合わせていくと、出前授業等の改善の余地が多いことも分かり、聞き手に効果的な啓発・教えるだけでなく、自分たちも「共に」学んでいくことが重要であるという話も聞くことができた。

# 今年度のまとめ

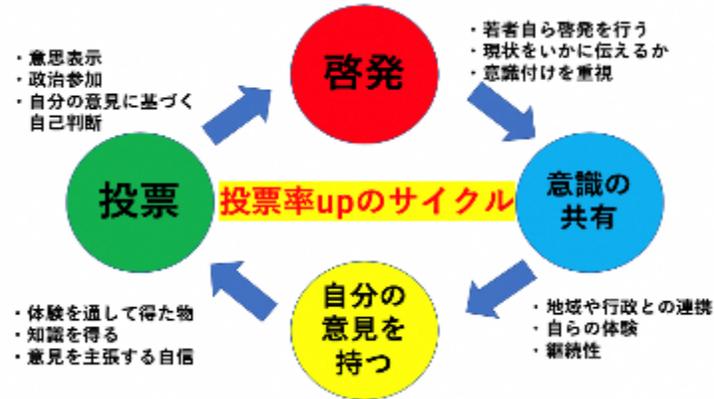
- 今後は特に投票率の低さの他の要因や、それらを改善していくにはどうすべきかを中心に分析をするため、区と連携をしていきたい。
- 出前授業や啓発活動も今後も続けていくので、出前授業時には、ほぼ必ずアンケート調査等を行い、「若者を始めとする人々の声」を聴いていく。
- 2020年は新型コロナウイルスの影響もあり、都筑区民まつり、地域連携調査研究発表会の中止や自粛による出前授業の減少など思うように活動ができなかった。しかし、この時世の中でオンライン講義といった新たなアプローチ方法を学んだ。

# まとめ（2018~2020年の活動を通して）

## 活動ポイント

- ・ 新たな視点で物事を見ることの大切さ（研究に活かす）
- ・ 授業などの活動の中で若者を始めとする人々の「声」を聴く機会を作る。
- ・ アプローチは世の中の動きに合わせていくなど、多様性を。

# 今後に向けて（投票率Upのサイクルと照らし合わせ）



啓発 : コロナ渦で得た**新しいアプローチ** 等

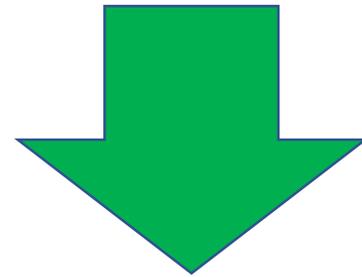
意識の共有 : 意識調査、授業の徹底（**互いに学ぶ**）

自分の意見を持つ : **互いに学ぶを前提とする（声を聴く）**

投票 : **衆議院選挙・横浜市長選挙**に向けて

# 今後に向けて

- 若者のみならず、多くの世代と「共に学ぶ」をモットーとした授業づくり、自分たちの卒業研究の質を向上させる。
- 啓発活動の新しいメンバー募集にも力を入れていく。



活動を次の世代に引き継がせる「**継続性**」が大切である。

最後に

1票で変わる未来があります

